（大正八年三月七日第三種郵便物認可）　昭和十四年五月五日　磐城時報　（金曜日）　第七千四百八十八號　【一】

夕刊
磐城時報

四日發行

編輯兼發行人　岡田弘成　第五號平市鎌田町十四
印刷所　磐城時報社　第五號平市鎌田町十四
發行所　磐城時報社　第五號平市鎌田町十四

一部金貳錢　一ヶ月金壹圓　廣告料一行十四字詰五十錢　日刊（日曜祝祭日）翌日休刊

首魁に懲役三年半
在京名士荒しの詐欺團
鈴木昌雄一味けふ判決

▲懲役三年六ヶ月、鈴木昌雄
▲懲役二年、相馬郡新地村生れ東京市四谷區花園町前科二犯元警視廳巡査酒谷四郎（四三）
▲懲役一年六ヶ月、仙臺市材木町生れ東京市本郷區林町菅野菊三郎（四三）
▲懲役一年（執行猶豫三年）平市南町生れ茨城縣助川町原野寅吉（四三）
▲懲役十ヶ月（同三年）東京市澁谷區幡ヶ谷木町志茂行城（四三）
▲同十ヶ月（同）東京市澁谷區青山穩田白水辨太郎（四二）
▲同十ヶ月（同）內鄉村清水直澄（四三）

既報、本縣出身の名士の名を騙つて僞筆、僞印を利用し在京の本縣出身實業家、有力者から六千余圓を詐取し、板垣陸相官邸に乘り込んで一稼ぎを目論み失敗して遂に平署に檢擧されたインテリ詐欺團一豐間村生れ當時東京市豐島區西巢鴨二丁目前科二犯鈴木昌雄（四六）外六名にかゝる詐欺恐喝事件の公判は三日平支部で開廷、檢事は鈴木に懲役四年、酒谷、菅野に同二年、原野に同一年、志茂、白水、澁水の三名に同各十ヶ月を求刑したが四日午前九時から判決公判を開き淺野裁判長から左の如く判決があつた

四倉小學校行事

四倉小學校では健康週間第二日目の三日午後一時から同町海岸で全校生千七百名が角力体操、愛國行進曲、遊戲など約二時間に亘り健康增進運動を行つた

高橋警察部長
濱通りを初巡視

高橋警察部長は左の日割で濱通り各署の初巡視を行ふ
▲八日平▲九日植田、四倉

木炭增産協議

濱三郡木炭同業組合では十四日午前十時から平市國体事務所に木炭增産對策ならびにガソリン代用炭製造につき協議

姙産婦と乳幼兒の健康を無料相談
誰方もお出掛け下さい

平市では二日から八日まで實施されてゐる兒童愛護週間に當り兒童愛護思想の普及徹底と人的資源の要素たる姙産婦及乳幼兒の健康保持の目的で明後六日から八日まで三日間毎日午前九時から午後九時まで市內各病院、各產婆宅で無料健康相談を實施することとなつた、受診希望者は區長から各戶へ配布するビラに添へた無料診察券を持つて何處でも隨意の病院、產婆宅へ行けば無料で診察相談に應ずることになつてゐる

健康週間映畫會
あす第三校で

市役所、警察署、平保健所主催築中であつた仙臺鑛山監督局平支所の廳舍落成式は四日午前十時半から新廳舍裏廣場で擧行された、修祓、皇居遙拜、默禱、祝詞奏上の後

鑛山監督支所
けふ落成式擧行

補潮仙鑛局長、青島知事（代理兼石山林課長）青沼市長（代理伊藤助役）市內官公衙代表富澤檢事、鑛山代表下野好田鑛業所長、常磐石炭鑛業會代表藤城長四郎氏、石城郡町村長代表中里湯本町長の玉串奉奠あり、補潮局長式辭あり同十一時半閉式、祝宴を張つたが關係者、來賓百余名列席盛會であつた

安田蕃伯入選

昨年度いわし揚操綱最高を示した小名濱町の共德丸がこの榮譽を獲得、優勝旗を授與された

有功章拜受
小名濱の水野氏

日本赤十字社の有功章ならびに特別社員章御授與式は三日東京市神田區一ツ橋共立講堂で閑院宮殿下臨の下に行はれたが小名濱町水野政次郎氏は有功章を拜受した

四倉では八日

四倉町役場主催の健康週間講演と映畫會は八日午後七時から四倉座で開催

酒上內務技師來郡
土木豫算編成期を前に
部下の土木、港灣視察

內務省土木局酒上技師は十二日來郡し夏井川、鮫川の各河川、小名濱、江名、四倉の各港を視察する

內務省土木豫算編成期を目前に控へての實地調査なので關係地元民はこの機を逃すなとばかり同技師の來郡をまつて改修、繼續工事の實現を極力要望することになつてゐる

漁夫前借詐欺

茨城縣湊町東和田、漁夫坂本惣吉（二二）同鈴木米吉（二二）は去月二十五日小名濱町古港漁業家野崎貞行氏からカムチヤツカ行

殘敵討伐行（四）
市內四丁目出身 新妻章宏君手記

『傳令に出た小島一等兵が兩大腿部貫通』

と中根上等兵が飛んで來た。

ドンドン二門の砲が釣瓶射ちに四發射ち込んだ、然し依然として沈默しない、癪に觸る、其の時右前の芽をふいた揚柳の下で敵狀を眼鏡で觀測して居た田中上等兵が

『○隊長殿、堤防上のチエツコは掩蓋です』

○隊長『さうか』

今までの瞬發信管は短延期に換へられ亦射ち出す、三發目の彈が見事掩蓋內に炸烈して火煙が眩眼から噴き出した。

右翼の○○隊も完全に包圍隊形を取り膝ほどに延びた草原をちよろちよろ躍進して居る、自分等は前進の時機をと待ち構へて居ると、眼前八米高上にグワングワンと大きな爆音がした、ハツト砂をかぶる、後方の誰かゞ

『手榴彈か』と聲を立てると誰かゞ『迫さんだよ』（迫擊砲のこと）と答へる、武器攻器戰には十五糎、機關砲、地雷等の洗禮を充分受けたが、今年は第一回の初物、暫くで元氣が出た、堤の上に頭を出して見ると佐藤上等兵が立つてバタバタ砂を掃つてゐる、同時に

『前進用意、右堤防上目標○○樹』

隊長の甲高い聲もハチ切れさうに、自分等を元氣づける小島一等兵の負傷の爲に一度に四人倒られて終つた、一層分解搬送に苦しむ、自分は堤防上をのこ〳〵歩き乍ら戶板に横はる小島一等兵に

『しつかりせよ』と呼びかける、出血多い爲か無言であつた、雜嚢から乾パンを取り出して喰べて見た、やけに喉咽が乾く、目標の部落も近いもう一息だ。（終り）

平市人事錄

○出生　一丁目二六當時神戶市灘區德井、赤津三郎さん二女孝子さん、立町五九七當時豐間村大字豐間竹中與太郎さん四男武男君、立町一二小針謙治さん四男繁君

▲死亡　四町二一猪狩政雄さん（四八）

前線から寄附
四倉の山野邊君

四倉町仲町友造さん次男山野邊軍兵衛君は目下○○万面の戰線に活躍中であるが、去る二日四倉町役場宛金五圓を送り同町銃後會へ寄附方を依賴して來た

友造さん一家は三人の軍人を出した譽れの家で目下三人とも第一線で活躍中である

現金拔取犯人收容

既報、一千圓の現金を拔取つた好間村日曾小田鑛業所會計係新妻茂武（三〇）は三日夜平檢事局に身柄を送られ嚴密ならびに横領罪で起訴され平刑務支所に收容された

美談少年遂に死亡

昨報、四倉小學校の全校兒童を感激させた美談の主人公四倉町仲町、喜一郎さん長男錢太郎君は母校兒童が平臺祈願

全国連続優良酒
菊美
内郷白水酒造店醸

●●石井小浪舞踊公演●●

現代女流舞踊界の第一人者石井小浪孃とその一門が、くり展げる晩春の大饗宴！

五月十三日（晝夜）二回
午後一時…七時開演

於平市公會堂

會費一圓（前賣券八十錢）

前賣發賣所
四丁目　マルトモ書店
二丁目　菊屋樂器店
同　地球堂書店
掻槌小路　魁文堂

主催　石井小浪後援會
後援　磐城時報社

鑑定應需

健康…家相-改善-修築…長壽
志願…音韻-血相-時期…達成
立身…產名-商號-藝名…出世
營業…性格-運勢-適業…繁榮
家運…容相-夫婦-配合…長久

平市　石島陰陽館主
大教正　石島德長
電話六五〇番

おでん酒の店
やき鳥　味郷
茶めし
平三田小路

肋膜・氣管支・關節・神經痛・肺炎・ロイマチス…扁桃線・中耳炎・骨膜・腰痛・ヂ疾に…
漢方貼藥 生命華
濕布で名藥
藥價　二四五十錢　四圓　八圓
平市五丁目角
專賣店　山野邊藥局

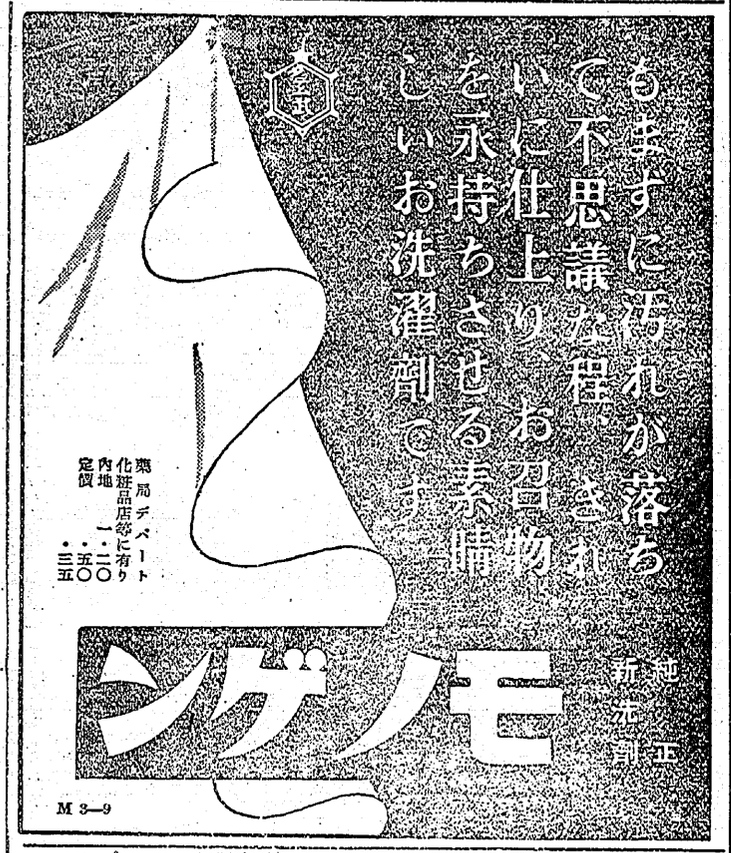
內臟外科
エッキス光線　院長　安齋徹
產婦人科　醫學士　黑澤廣
平市田町（電話四五七番）
入院隨意
安齋醫院

中古各種レール鐵管
礦山用機械・機具類
二大製鐵會社特約店
海軍工廠御用達
賣買と仲介

K.S
合資會社　平鋼鐵機械商會
代表社員　井尻七三郎
平市鍛冶町九【電話五二二番】

御買上品は精々御安く納品致します
御拂下げ品は精々高價に買受けます

診療時間　夜
腸胃病專門
內科　胃腸病科　花柳病科　性病科　泌尿器病科　皮膚科　肛門病科
松村胃腸性病科醫院
平市南町（電一〇七番）



お洗濯の時機に『モノゲン』を
市内有名藥店毛糸店洋品店にあり
代理店　中野洋品店
平二・電話五三三
☆小店員募集　本年度卒業生數名優遇す

強力電氣應用
神經痛に特效
ワタハ醫療器械店
平市中通

飲んで治る腫物の妙藥
八方敷
水野藥局
平市一・電六九九

入院自炊の便あり
耳鼻咽喉科
大和田醫院
平市南町（電話一〇七番）

古田眼科醫院
平市紺屋町【電話六八番】

昔昔そのむかし
御料理
たご田
毎
平電市六田三町二

加賀百萬石のお殿樣が
青田の稻を刈取らせ
田毎・田毎の水面
にうつる月影を
賞でたさうな
こんな意味から
名付けた新田町の
『田毎』へ愈々ハコが
入るやうになりました
どうぞ御贔負願ひます

平病院
元共濟病院跡
電話六四一番
院主　醫學博士　鈴木定藏
院長　鈴木定藏
內科・小兒科　レントゲン科　物理的療法科
內臟外科　一般外科　副院長　高橋俊幸
皮膚泌尿器科
藥劑科部長　吉本孝平
◎診療時間　午前八時ヨリ午後九時迄（急患ハ此ノ限リニアラズ）往診隨時
◎病室完備（自炊ノ便アリ）

タンス・鏡臺
御婚禮調度品を
取揃へました
是非
和久井屋へ
御越下さい
和
平市一丁目【電話四〇五番】

公債・債券
貿物一般
三井質店
平市四丁目
電話六〇六番

太皷樂器
各種
▽神社佛閣用太鼓
▽武德道場用太皷
▽歡送迎用音樂隊樂器（タナベ製品）
……カタログ進呈……
サ
平市六町目
佐藤太皷樂器店
電話四八三